

## 授業概要

図書館員として必要な情報技術の基本知識として、コンピュータ基礎、プログラミング、インターネット、Web 技術の講義と演習を行う。紙の図書館で利用されてきた技術、最近の電子図書館関係のシステムに関する技術・サービス・管理技術についても講義する。図書館での課題をもとにプログラミング・HTML の実習を行う。

## 授業計画

第 1 回	イントロダクション 図書館情報技術概要
第 2 回	PC 教室の使い方の説明 図書館の変化と情報技術の必要性
第 3 回	コンピュータの基礎
第 4 回	文字コードとデジタル表現
第 5 回	ネットワークの基礎
第 6 回	紙の図書館システムの歴史とコア技術
第 7 回	データベースの仕組み
第 8 回	検索エンジンの仕組み
第 9 回	電子の図書館システムのコア技術
第 10 回	Web 技術の基礎
第 11 回	HTML 演習
第 12 回	プログラミング演習 javascript scratch.1.
第 13 回	プログラミング演習 javascript scratch.2
第 14 回	セマンティック Web これからの図書館と情報技術
第 15 回	授業のまとめ
第 16 回	理解度の確認(試験)

## 到達目標

高校の授業「情報」を復習してもらい、図書館に必要な情報を理解し、図書館での情報技術の役割を説明することができる。

図書館員としての実践的な技術を理解できるように授業を進めるが、社会人としても情報技術は重要である。図書館だけでなく、広く一般的な情報技術へ関心を持つことができる。

## 履修上の注意

講義中の発言や質問や話題提供など、積極的な参加を期待する。司書課程の科目だが 情報技術論なので、プログラミング・HTML 等一部理系的な内容を含むことになるそのため PC 室で簡単な演習も行う。

司書課程科目の中では比較的独立性の高い科目内容だが、基礎理解として「図書館概論」の履修を済ませていることが望ましい。また、高校で情報の授業を履修していると望ましい。

## 予習・復習

授業までに指示される演習問題や資料の読み込みは事前にやっておくこと。毎時間、課題レポートを提出してもらう。授業中に終えられなかった課題は、次回までにおこなうこと。

## 評価方法

課題レポート(40%)と期末試験(40%)を主な評価とする。それに加え授業への貢献(議論への積極的参加など) (20%)を加えて評価する。

## テキスト

- ・参考図書 必要に応じて授業で配布する。
- ・高校教科書 情報